春の寺々を巡る 東総大師参り

くらしの中の祭り⑦

春の風が東総の山野にあまねき渡るころ、里から里へと「大師参り」の人々の列が続いて、ふるさとの風物詩となっています。毎年四月の初旬、巡礼姿の大師講の人々が、弘法大師の尊像を納めた厨子を背負い、「南無遍照金剛」の題目をとなえて寺々をめぐるものです。

この春の巡礼は、4月5日から13日までの9日間、大師講の人々が海上・匝瑳・香取・山武の四郡の寺々を巡拝するもので、その道のりは約四〇〇キロメートルに及ぶといわれます。この期間中、村々では「接待」と呼ばれる馳走をふるまい、休息の一刻、老人たちの交流の輪が広がります。

横芝・上町の立江山大師堂（石合）は、東総大師参りの「十九番札所」として知られ、今年は4月6日に、「浜大師」の人々が巡拝に訪れました。すでに一〇〇年以上の歴史をもつ大師講は、信仰を中心に人々の生活の中に浸透し、様々な形で生き続けています。

厨子を負って石段を登る（石合大師堂）

東総大師参り「十九番札所」

ちば博覧会 '90

―食と緑のメッセ―

11月18日(日)～12月16日(日)

「食と緑」について人々が学び、語り合い、ともに明るい未来を展望するため、「食と緑の博覧会」を開催します。

会場は、テーマ展開ゾーンと会場演出ゾーンに分かれ、テーマ展開ゾーンには、①テーマゾーン、②企業ゾーンが、また会場演出ゾーンには①団体出展ゾーン②イベント広場③世界のレストラン④グルメゾーン⑤ワールドバザール⑥フリーマーケット等があり、そのうち団体出展ゾーンには横芝町を紹介するコーナーもあります。

また、イベント広場では、郷土芸能である中台梯子獅子が出演する予定です。

この博覧会は、11月18日(日)から12月16日(日)までの29日間、幕張メッセで開催します。

入場前売券は産業振興課でお早めに

前売入場券は、役場産業振興課で発売していますので、希望者はお早めにお買い求めください。

大人　1、300円（当日1、500円）

高校生　800円（当日1、000円）

小・中学生　500円（当日　700円）

こくぼQ&A⑬

お年寄りの医療

Q 老人保健でお医者さんにかかるとき窓口ではどうすればいいのですか

A 市区町村から交付された「医療受給者証」と「保険証」を、病院や診療所の窓口に提示します

窓口で「医療受給者証」と「保険証」を提示。これで、老人保健の適用者であることと、どの医療保険の加入者であるかがわかります。